

都立スポーツ施設の戦略的活用について（TOKYOスポーツレガシービジョンより）

東京2020大会を契機にバージョンアップした都立スポーツ施設等を戦略的に活用していく。

18施設のネットワークで ポテンシャルを最大限発揮
<ul style="list-style-type: none">■ 発信力の強化■ ニーズ対応力の強化■ 一体的取組によるスポーツ振興

各施設の特徴を活かし、 3つの取組による多様な活用を推進
<ul style="list-style-type: none">■ スポーツでの更なる活用■ 多様な活用による新たな体験の提供■ 施設・地域との連携



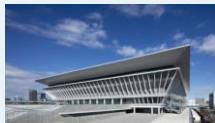
◎ 都民の皆様が届ける価値を最大化	<ul style="list-style-type: none">・大会のレガシーとして、都民にかげがえのない価値を提供・一人一人が健康で豊かに暮らせる東京を実現
-------------------	---

■ 18施設のネットワーク

大規模な競技大会から
都民のスポーツ実践まで幅広い活用



夢の島公園
アーチェリー場



東京アクアティクス
センター



東京体育館



駒沢オリンピック
公園総合運動場



東京武道館

スポーツ、エンターテインメントなど
多様な活動の場



有明アリーナ



武蔵野の森総合
スポーツプラザ



有明テニスの森公園
テニス施設



味の素スタジアム

18施設のネットワークで
ポテンシャルを最大限発揮



海の森水上競技場



大井ふ頭中央海浜公園
ホッケー競技場



カヌー・スラローム
センター



東京都障害者総合
スポーツセンター



東京都多摩障害者
スポーツセンター



若洲海浜公園
ヨット訓練所



有明アーバン
スポーツパーク(仮称)



東京辰巳
アイスアリーナ(仮称)



東京都パラスポーツ
トレーニングセンター(仮称)

多様なスポーツ体験を提供
(水上・氷上・アーバンスポーツなど)

障害者のスポーツの拠点

都立スポーツ施設の戦略的活用について

ご意見いただきたいポイント

I 18施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮

- ➔ 「発信力の強化」：18施設全体での情報発信を行う上で、どのような効果的手法が考えられるか？
- 「ニーズ対応力の強化」：多様な利用ニーズにきめ細かく応えるために、どのような取組や体制が必要か？
- 「一体的取組によるスポーツ振興」：18施設が一体となったスポーツムーブメントを推進する取組とは？

II 各施設の特性を活かし、3つの取組による多様な活用を推進

① スポーツでの更なる活用

- ➔ より多くの都民に多様なスポーツ体験や観戦機会を提供するための取組とは？

② 多様な活用による新たな体験機会の提供

- ➔ スポーツに関心のない方にも施設をご利用いただくためにはどのような方策があるか？
レクリエーション、レジャーなど、多様な活用を図るための具体的方策・先進的な事例とは？

③ 施設・地域との連携

- ➔ 周辺施設や地域と連携し、地域の魅力向上や活性化に寄与するための具体的方策とは？

各施設の戦略的活用について令和4年度の各施設の運営の参考にするとともに、
令和5年度以降の次期指定管理者の選定に反映させる

具体的取組のアイデア例

I 全18施設のネットワークでポテンシャルを最大限発揮

発信力の強化

- 18施設の魅力や仕様、活用事例等を一体的に内外にプロモーション
- 幅広いスポーツ体験機会の総合的な発信

- 例**
- ・ 18施設共通の施設ガイド作成（デジタルブックなど）
 - ・ 施設の3Dビュー+VR映像の拡充
 - ・ 「TOKYO Unique Venues」への掲載
 - ・ LINE等を使った全施設のスポーツ教室やイベントのお知らせ
 - ・ 若者の関心を引くSNS媒体での施設紹介（YouTuberとのコラボなど）
 - ・ 共通ロゴや装飾を使った認知度向上
 - ・ Webサイトを一層分かりやすくしていく（局統合のタイミングなど）



○スポーツTOKYO
インフォメーション
（局の情報発信）



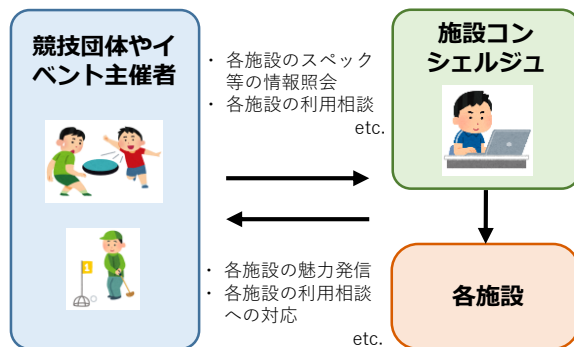
○SPOPITA
（都内スポーツ情報の発信）

ニーズ対応力の強化

- 18施設で多彩な体験機会のメニュー化
- 相談窓口としての施設コンシェルジュ機能の強化

- 例**
- ・ 子どもから高齢者まで幅広い層に対応したメニューの提供
 - ・ 地域レベルから国際大会まで、様々な種類、種目の大会の受入れ
 - ・ 政策連携団体との連携強化の検討（ネットワークのサポート体制整備）
 - ・ スポーツ用具や東京2020大会アーカイブ資産等の施設間共有
 - ・ 多目的利用を促進する仕組み作り（予約制度の改善）
 - ・ 共通の利用者アンケートの実施と事業への反映

▼コンシェルジュ機能



➡ 発信力と合わせ、幅広くニーズに対応

一体的取組によるスポーツ振興

- 共通コンセプトによるスポーツイベントの開催
- 複数の施設が連携した大規模大会の開催

- 例**
- ・ 周年事業、スポーツの日記念事業、パラスポーツ等に着目した共通イベント
 - ・ 大会ベニューツアーの開催、修学旅行、合宿等の受入れ
 - ・ 施設スタンプラリー（銘板等を活用）
 - ・ 映像配信システムを活用した複数施設間における同時中継、交流
 - ・ 同一管理者の施設で行われているイベントの他施設への拡大

➢ 女性バレーボール交流会
（東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館）

➢ 味スタ感謝デー
（味の素スタジアム、武蔵野の森総合スポーツプラザ）

- ・ 複数会場使用による大規模大会等の実施

➢ ウィンターカップ
（東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場）

➢ WMHマスタースワールドカップ2022
東京（駒沢オリンピック公園総合運動場、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場）

①

スポーツでの 更なる活用

スポーツを「する・みる・支える」場として競技大会での利用、都民利用、アスリートの練習会場としての利用を進め、障害の有無に関わらず、スポーツを通じた都民の健康づくりと競技力向上を推進

競技力向上

国際大会や、国内の主要大会など数多くの競技大会の開催、競技団体の練習利用等、アスリートの育成・強化を通じて、競技力向上を図っていく

【想定対象施設】全施設

- 国際大会の誘致・開催や、全国・全都レベルの大会などの開催を通じたアスリートの強化・育成 など



- 合宿・練習利用のほか、国内競技の強化拠点化、学校の部活動での利用 など



多様なスポーツ利用

子どもから高齢者まで幅広い層が楽しめる多様な体験機会を提供することで、スポーツを通じた都民の健康づくりを推進していく

【想定対象施設】全施設

- ニュースポーツや、水上・氷上スポーツ、アーバンスポーツ、パラスポーツなど、多様なスポーツ・レクリエーション利用の拡大 など



- 初心者や経験者などレベルに応じた体験会等の実施や、オリンピック・パラリンピアンによる教室開催、指導者講習会 など



②

多様な活用による 新たな体験の提供

各施設の設備・立地や民間のノウハウを活用し、スポーツの新たな魅力を引き出し、
ていくとともに、エンターテインメントやユニークベニューなど幅広い活用を進め、
都民に新たな体験を提供

ユニークベニュー

ロケ地利用、企業研修、興行イベント誘致などを通じて、施設の多様な活用を
図っていく

- 広大な陸上エリア、東京湾のダイナミックな景観を活かしたコンサートやレセプションの実施 など



- 企業研修、環境学習やロケ地利用 など



【想定対象施設】海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター、東京体育館、武蔵野の森総合スポーツプラザ、有明テニスの森公園テニス施設 など

- 1964大会からの歴史的つながりや、漫画や映画等とコラボした競技の聖地としてのブランディング など



- マルシェや多摩・島しょ地区の名産品の販売会 など



エンターテインメント

スポーツ・文化の拠点として、国際大会やプロリーグの観戦、アーティストのコンサート、各種イベント・ショーなど多種多様なコンテンツを提供していく

- トップアーティストのコンサート、文化・芸術などの各種イベント・ファッションショー など



- プロスポーツチームとの連携による事業展開 など



- eスポーツ大会による新たなスポーツ体験機会の提供 など



- 多摩地域の自然のVR体験、ラジコンヨットレース等、地域の特性を活かした取組 など



II 各施設の特徴を活かし、多様な活用を推進

最先端技術の活用

最先端のIT技術や、高密度Wi-Fiや5G等の通信環境の整備などを活用して、新しいスポーツ体験機会を提供していく

【想定対象施設】東京体育館、東京武道館、若洲海浜公園ヨット訓練所、武蔵野の森総合スポーツプラザ、障害者スポーツセンター、有明アリーナ など

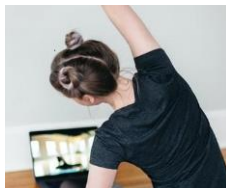
- 映像配信システムを活用したジュニアスポーツや障害者スポーツ観戦環境の提供 など



- XR (VR/AR等) を活用したスポーツ観戦機会の提供、5G環境を活用したハイレベルな練習環境の提供 など



- 障害者eスポーツ (セーリング) 体験や施設に來られない重度障害のある人などに向けたオンライン教室 など



- VR等のデジタル技術を活用した初心者向け武道競技体験 など



多様なレジャー体験機会等の提供

新しい都立スポーツ施設、今後誕生する施設を始め、施設の特長を活かし、幅広いレジャー・レクリエーション体験機会等を提供していく

【想定対象施設】若洲海浜公園ヨット訓練所、海の森水上競技場、夢の島公園アーチェリー場、カヌー・スラロームセンター、東京アクアティクスセンター など

- 水域でのヨット、ドラゴンボート、スタンドアップパドルボート、ラフティング体験、水上遊具を使ったレジャー体験 など



- 食 (ケータリング等) とスポーツアクティビティをセットにした非日常の体験 など



③

施設・地域との連携

他のスポーツ施設とのネットワークや、周辺施設、地域との連携を深め、多様なニーズに対応するとともに、地域からのスポーツ振興に加え、地域の魅力向上や活性化に寄与

施設間連携

スポーツ施設間の連携はもとより、スポーツ施設以外の施設との連携も積極的に展開し、多様なニーズに応えるとともに、利用者サービス向上を図っていく

- 近隣公園と連携した各種イベントの開催（ウォーキング、音楽、キャンプ）や、ランニングステーション、共通チケット制の活用など



- 近隣施設や自治体、企業と連携したスポーツイベント等の実施・拡充 など



- 障害者スポーツセンター、東京都パラスポーツトレーニングセンターと連携した各施設におけるパラスポーツの普及振興 など
- 複数会場を使用(連携)した大規模国際大会等の誘致支援 など



地域との連携

地域の団体や地元自治体等と連携して地域におけるスポーツ活動をはじめ、様々な事業を展開することで、人と人との交流を促進し、地域・経済の活性化へとつなげていく

- 近隣大学・商店街・ボランティア等と連携したスポーツイベントやマルシェ など
- 空き研修室等のコミュニティスペースの利用や地域住民を交えた地域交流事業の実施 など



- 総合型地域スポーツクラブとしての活用 など
- 周辺大学と連携した地域住民向け講座やワークショップの実施 など



【想定対象施設】東京体育館、駒沢オリンピック公園総合運動場、東京武道館、武蔵野の森総合スポーツプラザ、障害者スポーツセンター、大井ホッケー競技場、味の素スタジアム、有明アリーナ、東京辰巳アイスアリーナ（仮称）など

【想定対象施設】東京体育館、東京武道館、武蔵野の森総合スポーツプラザ、海の森水上競技場、障害者スポーツセンター など

スポーツツーリズム

地域、関係機関と連携し、国内外からの誘客・消費拡大を促進。地域が持つ観光資源とスポーツとを掛け合わせて施設の利用促進や、地域の活性化につなげていく

【想定対象施設】東京武道館、若洲海浜公園ヨット訓練所、海の森水上競技場、カヌー・スラロームセンター、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 など

- 東京2020大会のレガシーを活かし、競技会場等を巡るベニューツアー（施設見学会）を実施 など



- スポーツ施設間で連携した合宿、修学旅行や企業研修の誘致、地元区、まち協等と連携したスポーツツーリズム など



- 「弓道体験×はかまの着付体験×茶道体験」などの施設特性を活用した武道ツーリズム など

